

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年03月31日

計画の名称	快適で衛生的な住環境及び大雨時に安心なまちづくりの実現（第2期）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	狭山市												
計画の目標	公共下水道を整備することにより、快適で衛生的なまちづくりと集中豪雨に強いまちづくりを実現し、安心・安全な居住環境を整備する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,116	A	1,116	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	下水道（汚水）整備達成率を95.2%（H27）から97.4%に増加させる。 下水道（汚水）整備達成率 汚水整備済面積（1,904.30ha）/事業計画面積（1,998.53ha）	95%	97%	97%
2	下水道（雨水）整備達成率を13.6%（H27）から13.9%に増加させる。 下水道（雨水）整備達成率 雨水整備済面積（183.22ha）/事業計画面積（1343.22ha）	14%	14%	14%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	狭山市	直接	狭山市	管渠(汚水)	新設	久保川処理区幹線・枝線 管渠整備事業	A=7.6ha(管渠整備)	狭山市						425	-		
	A07-002	下水道	一般	狭山市	直接	狭山市	管渠(汚水)	新設	不老川処理区幹線・枝線 管渠整備事業	A=6.9ha(管渠整備)	狭山市							383	-	
	A07-003	下水道	一般	狭山市	直接	狭山市	管渠(汚水)	新設	新河岸処理区枝線管渠整備事業	A=0.7ha(管渠整備)	狭山市							84	-	
	A07-004	下水道	一般	狭山市	直接	狭山市	管渠(雨水)	新設	鶴ノ木雨水幹線管渠整備事業	A=1.5ha(管渠整備)	狭山市							143	-	
	A07-005	下水道	一般	狭山市	直接	狭山市	管渠(雨水)	新設	西河原雨水枝線管渠整備事業(浸水対策)	A=2.4ha(管渠整備)	狭山市							81	-	
												小計							1,116	
												合計							1,116	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

狭山市公共下水道事後評価委員会において評価を行うとともに狭山市上下水道事業審議会へ報告し意見を求めた。

事後評価の実施時期

令和2年10月26日

公表の方法

市公式ホームページ掲載

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

污水管整備については、久保川、不老川、新河岸処理区の整備により人口普及率平成26年度末95.42%から令和元年度末現在96.55%となり、生活環境の向上を図った。  
雨水管整備については、鵜ノ木雨水枝線の整備をすることにより、都市計画道路の道路環境整備に寄与し、さらに、西河原雨水枝線を整備することにより新狭山駅周辺の浸水対策を図った。このことから、雨水の面積整備率が13.9%に向上した。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

今後も引き続き市街化調整区域第4期の污水管整備を進めるとともに、雨水管の整備についても浸水被害の軽減を図るため整備を進める。  
交付金対象となる公共下水道管整備について、更なる交付金の活用に努める。  
下水道（污水）整備については、引き続き新しい社会資本総合整備計画（令和2年度～令和5年度）において進める。  
下水道（雨水）整備については、新しい社会資本総合整備計画（重点事業）として（令和2年度～令和6年度）において進める。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道（汚水）整備達成率を95.2%（H27）から97.4%に増加させる。	
	最終目標値	97%
	最終実績値	98%
2	下水道（雨水）整備達成率を13.6%（H27）から13.9%に増加させる。	
	最終目標値	14%
	最終実績値	14%